

# 独占禁止法教室

## 資料のサンプル (抜粋版)

公正取引委員会  
Japan Fair Trade Commission

どっきん オットリー長官

### 独占禁止法教室

〇〇〇〇年〇月〇日(〇)  
〇〇立〇〇〇〇学校

公正取引委員会事務総局 東北事務所

創意あふれる事業者と消費者の利益のために

公正取引委員会  
Japan Fair Trade Commission

はじめに

### 独占禁止法教室の目標

1. 経済の仕組みを理解する。
2. 経済にはルールがあることを知る。

### 本日のキーワード

1. 市場経済
2. 競争
3. 独占禁止法
4. 公正取引委員会

公正取引委員会  
Japan Fair Trade Commission

経済とは

### 経済とは？

経済とは、私たちが暮らす社会において生み出される商品やサービスとお金相互に流れる仕組みを指す言葉です。みなさんがコンビニでお菓子を買ったり、フリマアプリなどで物を売ったりすることも立派な経済活動の一部です。



公正取引委員会  
Japan Fair Trade Commission


経済の種類

### 経済にはどのような種類がある？

#### 市場経済 (資本主義)

売り手(生産者)と買い手(消費者)が「市場」を介して自由にモノ・サービス(商品)を売買できる経済の仕組みを指します。

※市場とは・・・売り手と買い手が取引(売買)を行う場のことです。例えば、パソコン市場、ゲーム市場といったように、商品ごとに市場が成立します。



#### 計画経済 (社会主義)

政府(国)が商品の売買を決める社会のことで、売り手は、あらかじめ国が決定した計画(種類や数、分配先)に従って商品を生産し、買い手はその中から商品を購入する経済の仕組みを指します。


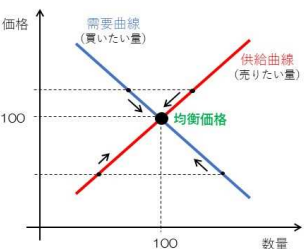
公正取引委員会  
Japan Fair Trade Commission

市場経済

### 市場経済の考え方

市場経済では、市場を通じて売り手や買い手が自由に商品の売買を行い、需要と供給のバランスが保たれることで、商品とお金が効率よく流通すると考えられています。

※市場で価格を介して需要と供給が調整され、資源が無駄なく配分されます。




市場経済においては、商品の価格は需要(買い手が買おうとする量)と供給(売り手が売ろうとする量)が均衡するところで決まります。

公正取引委員会  
Japan Fair Trade Commission

市場経済と競争

### 市場経済で大事なものは…？

答えは「競争」です。



市場経済では、企業同士で活発な競争が行われることにより、新たな商品が生み出されたり、価格が安くなったり、消費者にとって大きなメリットが生じることになります。なぜ競争が大事なのか、実際にシミュレーションゲームを通して実感してみましょう！



**公正取引委員会**  
Japan Fair Trade Commission

シミュレーションゲーム

### ◆この場を仮想のmyPhone市場と想定します。

①myPhoneの販売店は、他の販売店よりも多くの消費者を獲得し、利益を上げることができるよう、販売方法を工夫してみましょう。

②消費者は、どの販売店からmyPhoneを買いたいか考えましょう。

サービスが充実しています！

価格では負けないよ！

わーい！

わーい！

**公正取引委員会**  
Japan Fair Trade Commission

シミュレーションゲーム

### ◆ルール

- myPhoneの仕入価格は2万円（固定費）
- 販売価格（相場は5万円）とサービス（2つまで）を決定（赤字は×）
- 最終的に、より多くの消費者を獲得し、利益を上げた販売店が優勝！

### ◆ゲームの流れ

例

**販売店A**  
販売価格：5万円  
サービス：なし  
利益：3万円（5万円－2万円－0円）

**販売店B**  
販売価格：4.6万円  
サービス：1千円の保護フィルムの無料貼り付け  
利益：2.5万円（4.6万円－2万円－1千円）

プラン決め  
①販売価格・サービスを考えよう！  
②1台当たりの利益を計算しよう！

発表  
③班ごとに考えたプランを発表しよう！

投票  
④投票の結果、一番多く利益（1台当たりの利益×投票数で計算）を上げたチームが優勝！

定くてサービスも付いている販売店の方がいいなー！

**公正取引委員会**  
Japan Fair Trade Commission

競争による消費者のメリット

### 競争による消費者のメリットとは？

企業が競争することによって、商品の低価格化、サービスの充実、機能の改良などが行われ、消費者は、いろいろな商品の中から欲しい商品を自由に選択することができます。例えば、携帯電話会社同士が競争することにより、軽量・小型化などの品質向上、メールやカメラなどの機能・性能向上、サービスの向上、通話料金などの低料金化など、消費者はさまざまなメリットが受けられます。

軽量化 小型化 料金低下 品質向上 性能向上 サービス向上

1G 2G 3G 4G 5G

**公正取引委員会**  
Japan Fair Trade Commission

競争による消費者のメリット

携帯電話会社に限った話ではありませんが、普段みなさんが利用しているサービスも、様々な企業の競争の結果がもたらしたものと考えると「競争」の重要性がよく分かりますね！

**公正取引委員会**  
Japan Fair Trade Commission

競争による社会全体のメリット

### 競争による社会全体のメリットとは？

社会全体のメリット

- ◆雇用の増加
- ◆新規産業の創出
- ◆日本経済の活性化・発展

公正かつ自由な競争

企業のメリット

- ◆事業の革新化
- ◆技術革新
- ◆市場規模の拡大

消費者のメリット

- ◆安く良い商品の購入
- ◆サービスの充実
- ◆選択肢の多様化

**公正取引委員会**  
Japan Fair Trade Commission

競争のない市場

### もし競争がなかったら…

企業は利益を確保するために競争を妨げることがあります。

先ほどのシミュレーションゲームの内容を思い出してみましょう。例えば、競争している企業同士が話し合って販売価格を10万円に統一してしまったら？あるいは、サービスを無くしてしまったら？このように、企業が競争することを止めてしまったらどうなるでしょうか。企業はコストダウンや技術開発を怠るようになり、価格は高止まり・硬直化、新たなイノベーションは生まれず、サービスも低下してしまいますね。つまり…

→

- ・消費者が不利益を被る！
- ・日本経済の発展の妨げになる！

**公正取引委員会**  
Japan Fair Trade Commission

公正かつ自由な競争

ここまでの説明で競争の重要性についてはお分かりいただけたかと思いますが、競争に勝つためならどのようなことをしてもいいでしょうか。

例えば、サッカーでボールを持って走ったり、選手を攻撃したりすることや、短距離走で隣のコースの選手を妨害したり、事前に選手同士で順位を決めたりすることは問題ないでしょうか。

がんばれ日本！

このようにルールを無視した試合を観戦している人は見ていて楽しいでしょうか。もしこれが自分の出場する大会で行われたら、みなさんはどう思うでしょうか。

**公正取引委員会**  
Japan Fair Trade Commission

競争のルール

### 競争にはルールが必要！

競争は大事ですが、勝つためには何をしてもいいというわけではなく、ルールを守らなければいけません。サッカーや陸上にもルールがあるように、（企業の）経済活動にもルールが存在します。

その基本ルールを定めたものが

## 「独占禁止法」

という法律です。

そして、この法律を運用するのが

## 「公正取引委員会」

という国の行政機関です。



**公正取引委員会**  
Japan Fair Trade Commission

**独占禁止法とは**

# カルテル

複数の企業が話し合い、本来、各企業がそれぞれ決めるべき商品の価格や生産数量などを共同で取り決める行為を**カルテル**といいます。

消費者は価格によって商品を選ぶことができなくなるばかりか、本来ならば安く買えたはずの商品を高く買わなければならなくなります。「カルテル」は、商品の価格を不当に上げると同時に、非効率な企業を温存し、経済を停滞させるため、世界中で厳しく規制されています。

**公正取引委員会**  
Japan Fair Trade Commission

**事例紹介①**

## 修学旅行料金カルテル事件

旅行業者5社は、市立中学校の修学旅行の貸切りバス代金、宿泊費、企画料金、添乗員費用の基準を設けることに合意しました。市立中学校からすれば、どこの旅行会社に依頼しても旅行業者間で取り決めた基準以上の費用がかかることになってしまったわけです。この行為は、市立中学校の修学旅行に関する旅行業務市場の競争を実質的に制限している（カルテル）ため、公正取引委員会が行政処分をしました。

**公正取引委員会**  
Japan Fair Trade Commission

**公正取引委員会の仕事**

**端緒** (調査のきっかけ) → **行政調査** → **意見聴取手続** → **行政処分**

**立入検査**

公正取引委員会は、一般の方からの報告を受け、違反の疑いのある会社に「立入検査」（実際に会社に行って違反の証拠となる帳簿や取引記録といった資料を集めてくること）をします。また、立入検査のときには「審査官証」を見せる決まりになっています。

**事情聴取**

公正取引委員会は、必要に応じて関係者（違反の疑いのある会社の担当者など）から話を聞きます。これを「事情聴取」といい、いわゆる「取調べ」のことです。違反行為に関する事実を解明するために重要な仕事になります。

**排除措置命令**

違反をした会社、その行為をやめさせ、市場における競争を回復するために必要な措置を命じます。この行政処分を「排除措置命令」といいます。

**公正取引委員会**  
Japan Fair Trade Commission

**模擬立入検査・模擬事情聴取**

独占禁止法に違反して**価格カルテル**を結んでいる疑いのあるMTTコドモに、公正取引委員会職員が**立入検査**と**事情聴取**をするという設定で寸劇に挑戦してみよう！

**公正取引委員会**  
Japan Fair Trade Commission

**公正取引委員会の仕事**

公正取引委員会は、競争を制限するような違反行為を摘発する一方で、企業等が**競争をしやすい環境の整備**をするために、様々な**領域で競争政策を展開**しています。

**公正取引委員会**  
Japan Fair Trade Commission

**公正取引委員会の仕事**

抜粋版ではなく全体の資料をご覧になりたい場合は  
下記担当者まで遠慮なくご連絡ください。  
(※難易度の変更も可能です。)

【連絡先】

公正取引委員会 東北事務所 総務課 (担当：内野)

☎022-225-7095 ✉[touhoku-soumu@jftc.go.jp](mailto:touhoku-soumu@jftc.go.jp)